



# 鹿島中学校だより 如月 和・輪・我

平成24年2月発行  
薩摩川内市立鹿島中学校



## 郷土の先人たちと鹿島学

校長 河野通芳

県教委では、平成22年度から3年間で、読み物教材「続郷土の先人『不屈の心』」の作成を行っています。中学生用には、郷土の先人や郷土縁の人、活躍中の県出身者16名(組)を紹介しています。①遠藤保仁(プロサッカー選手) ②井上雄彦「スラムダンク」作者 ③愛華みれ(宝塚スター) ④武満徹(作曲家) ⑤向田邦子(脚本家・作家) ⑥田中一村(画家) ⑦泉芳朗(奄美復帰運動の父) ⑧椋鳩十(作家・元県立図書館長) ⑨白井松次郎、大谷竹次郎(松竹芸能創業者) ⑩園田兵助(かごしま黒豚の父) ⑪東郷平八郎(海軍元帥) ⑫薩摩藩英国留学生 ⑬小松帯刀(薩摩藩家老) ⑭松寿院(島津本家から種子島家に嫁ぐ) ⑮小野仙右衛門(川内の新田開発) ⑯島津忠良、新納忠元(郷中教育)とガンバ大阪の遠藤から江戸時代の隠れた偉人まで、様々な人々が紹介されています。昨今、大阪都構想を始めとする地方分権の動きが注目され、地方の活力こそが復興の鍵とされる時代だからこそ、中学生に郷土が生んだ偉人から多くのことを学んでほしいと思います。

さて、郷土教育の必要性が叫ばれたのは今回が初めてではなく、今から四半世紀ほど前から、県内の各地で盛んに郷土誌が刊行されたり、隠れた偉人の業績が発掘され、教材化された時代がありました。鹿島村の郷土誌も初刊はこの時代に刊行され、「鹿島村の方言」研究も時代はやや下りますが、この流れに沿ったものだと思います。

私事になりますが、当時下甌の学校に勤務していて、「下甌の先人たち」の編集に携わり、下甌各地域の先人の遺業を取材しました。多くの方からたくさんのことを学ばさせていただきましたが、まだ取材しきれていないところもあったので、気にかかっていた。先年下甌郷土館を訪れた時、郷土館の橋口義民さんから、以前に比べ学校の訪問や取材が少なく、地元の学校に郷土の歴史や文化史を教材化する意欲をもってほしいことをうかがいました。久しぶりに「郷土の先人」たちを手にとってみると、編集に携わった先生方は私を残してすべて退職され、取材させていただいた方もお亡くなりになった方が多いようです。甌島の歴史やその中でがんばった先人の業績が埋もれてしまわないよう、自戒したことでした。

コミュニケーション科「鹿島学」の目的である「鹿島を学び、鹿島に貢献する意欲」を学ぶためにも、「鹿島学」は何らかの形で残ってほしいと思います。志半ばで中学校の鹿島学を一旦終わりますが、小学校に新しく入学する子どもたちとともに、「鹿島学」は生き続けてもらいたいと思います。

地域のすべての方々に、中学校の別れの会に向けて「鹿島中の思い出」のメッセージをお願いしました。それがきっかけとなり何年か後に、新しい時代の「鹿島学」が復活することを切に望んでいます。一人でも多くの方のメッセージをお待ちしています。

## 3月の生活努力目標

1年の反省を行い、進学・進級の心構えをもつ  
一事徹底事項「1年を振り返り目標を決めよう」

## 学習の充実を

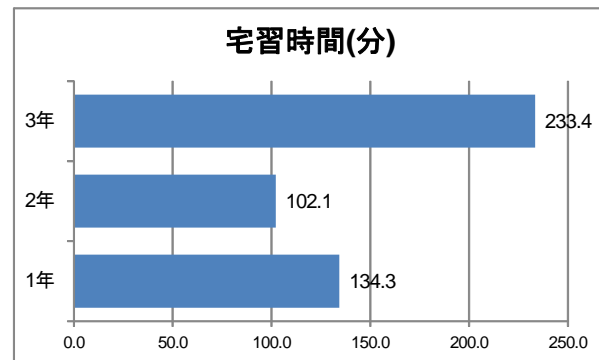
1月上旬に1・2年生を対象とした県の『「基礎・基本」定着度調査』が行われました。調査結果については、各教科担任から生徒を通じてお知らせしていますが、ご覧になったでしょうか。

さて、このテストは「児童生徒に基礎的・基本的な内容が身に付いたか」を調査するために行われています。問題内容や難しさも毎年同じ程度です。そこで、昨年の結果と比較や今年度の再指導する内容を把握に活用しています。

先日、ある研修会でこの調査の得点と学習時間に相関関係があると聞きました。つまり **学習時間が長い生徒は、得点が高い** **得点の高い生徒は、学習時間が長い**

という結果です。学習時間が先か得点が高かき議論の余地はあるところですが、大変興味深い内容でした。

以下のグラフは、2学期末テスト前1週間の家庭学習時間のグラフです。本市では「通算学年×1+30分」を目標にしています。この期間はどの学年も目標時間を超えています。



しかし、12月はこの半分程度の学習時間でした。「継続は力なり」です。親子でも家庭学習のことを話合い効果が出るように、ご協力お願いいたします。

## 生徒の活動

生徒会専門部会や日々の清掃など、生徒は一日一日を充実させています。その様子を写真でご覧ください。



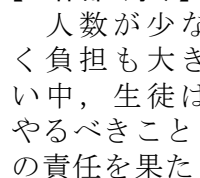
【生保部:海琴】



【文学部:胡桃】



【清掃:尋也】



【発表:裕亜】



【清掃:紘一郎】



【清掃:英里】

## 基礎・基本定着を目指して

以下は、それぞれの授業の様子です。



【国語:前村教諭】



【英語:春畑教諭】



【国語:松久保教頭】



【理科:新川教諭】



【社会:雨宮教諭】



【音楽:中野教諭】

今年度、本校では「確かめテスト(CT)の実施で学力アップ」を合い言葉に授業を行い、研修を重ねてきました。先日、この取組の効果を定期テスト結果との関連を基に検証しました。その結果、どの教科でもCTを行ったことで学習内容の定着がアップしているということが判明しました。

また、新しい学力といわれる「読解力」を付けさせるための言語活動(課題を基に調べたことを話す・書く・聞く活動)を積極的に取り入れています。さらに、家庭学習に関しては生徒一人一人の苦手に応じた課題を出題し、昼休みや放課後をも活用して解説しています。

学力アップの実感は簡単には現れないでしょう。しかし、このような地道な努力をこれからも続けていきます。

【花の育成:苑川主事】

## 3月の行事

- 2日(金) 1・2年生授業参観・学級 PTA
- 4日(日) つばきマラソン大会
- 6日(火) 1・2年実力テスト(～7日) 納金日 家庭学習の日 公立高等学校入学者選抜試験(～7日)
- 9日(金) 3年生を送る会 留学生巣立ちの会(予定)
- 11日(日) 休校に係わる奉仕作業(15:00～)
- 13日(火) 第64回卒業式 お別れの会
- 14日(水) 公立高等学校入学選抜者試験合格発表
- 16日(金) 夜回り
- 22日(木) 小学校卒業式参加
- 23日(金) 修了式・お別れ式 学級活動
- 24日(土) PTA 送別会(予定)

